

北陸管内のバイオマスタウン構想の概要(16市町)

| 県名 | 市町村名 | 構想の概要 |
|-----|--------------|---|
| 新潟県 | 胎内市 (中条町) | 家畜排せつ物、下水汚泥、木質系残さなどから、蒸煮・炭化技術により、燃料や土壌改良資材を生産するなどし、地域産業の活性化、資源循環型のまちづくりを産学官が連携して推進する。 |
| | 上越市 | 生ごみや廃食用油、未利用間伐材の利活用を図るため、バイオガス化施設、汚泥乾燥施設、BDF化施設、木質変換施設等を有機的に結びつけ整備することにより、エネルギー及びマテリアル資源の「地産地消」を目指す。 |
| | 柏崎市 | 住民と行政の協働による「まちづくり」を目指す。「エネルギーのまち柏崎」は、下水道施設を活用した汚泥や生ごみ等の利活用・住民との協働によるBDFの製造や森林資源及び稲の利活用による新たなエネルギーの製造事業を推進する。 |
| | 佐渡市 | 「人とトキが共に生きる島づくり」を目指し、(1)地域の豊富な木質バイオマスをチップ化・ペレット化しボイラー等の燃料として利用(2)地域内の廃食用油を回収しBDFに精製し自動車等の燃料として利用を2本の柱とした取組を行い、地域内の廃棄物系バイオマス・未利用バイオマスの利活用の推進を図る。 |
| | 新潟市 | 農業系バイオマス資源を中心に堆肥化等を行うとともに、食品加工残渣の飼料化を推進するなど農業を中心とした地域内資源循環を形成する。市民による、環境にやさしい農畜産物の消費や菜の花プランへの参加、産学官連携による課題の研究など関係者が一体となって農業の魅力づくり・環境重視のまちづくりを目指す。 |
| | 三条市 | 学校給食残渣や事業系生ごみ等の「堆肥化」、学校給食調理場等から排出される廃食用油のBDF化や木質バイオマスの「燃料化」、廃棄物系バイオマスの「エネルギー回収」の3つの柱を基本に地域のバイオマスの利活用を推進する。 |
| | 聖籠町 | 従前から行っている家庭系厨芥類の堆肥化事業の一層の拡充に加え、公園・果樹剪定枝と籾殻の炭化事業や、休耕田を活用したバイオエタノール生産の取組によりバイオマスの利活用を推進する。 |
| | 湯沢町 | 宿泊施設等から大量に発生する生ゴミや廃食用油、また未利用間伐材等の利活用を図るため、バイオガス化施設、バイオディーゼル燃料化施設、木質固形燃料化施設を整備することにより、住民・観光・環境との共生による循環型社会の構築を目指す。 |
| 富山県 | 立山町 | 学校給食や公共施設等で発生する生ごみを堆肥化し、花壇・農地等へ還元するとともに、木質バイオマスのペレット加工への活用を検討することにより、温室効果ガスの排出削減ならびに有機循環型農業と環境教育の推進を図り、資源循環型社会の構築を進める。 |
| | 富山市 | 現在エコタウンを中心に実施している生ごみのバイオマス発電、廃食用油のバイオディーゼル燃料化、建設発生廃木材及び造園剪定の製品化・堆肥化などをバイオマスタウンとして、市民、事業者、行政の連携と協働により拡大する。さらに、製材工場廃木材及び間伐材などのバイオマス発電や燃料化に新たに取り組み、多種多様に豊富なバイオマスの利活用を推進する。 |
| | 黒部市 | 下水道汚泥等と生ごみを下水道施設でバイオガス化し有効利用を図る。また現在、民間で行われている「廃食用油のバイオディーゼル燃料化」や「木質バイオマス資源の製品化」「バイオプラスチック製品の普及」を市民、事業者、行政の連携と協働により利用率向上・普及拡大を推進する。 |
| 石川県 | 七尾市 | 現在、紙やプラスチックと混合し、燃料化している生ごみについては、分別し、飼料や肥料への利活用を進める。生ごみに加え、家畜排せつ物やもみ殻を堆肥化し有機農業へ活用し、有機農産物を市民へ供給することにより、資源循環型社会を目指す。 |
| | 加賀市 | 本市におけるバイオマスタウン形成においては、生ごみ、下水汚泥、剪定枝等のバイオマス資源を有効に利活用して地域の振興に寄与することを第一の目標とする。さらに、廃食用油、木質系資源等を活用したシステム作りを検討するとともに、今後新しいバイオマスの利活用方法の開発を目指す。 |
| 福井県 | 福井市 (美山町) | 森林ボランティアや各種団体が加わった森づくり隊や高性能林業機械導入で間伐を進め、間伐材や林地残材等の未利用バイオマスを利用したエネルギーの産出と付加価値を高めた不燃材を生産する。バイオマスの利活用を通じて、森林の保全と大径木を産出するために必要とされる間伐の推進および地域活性化を図る。 |
| | 大野市 | 市内から発生するもみ殻、製材残材、剪定枝、豆腐かすなどを家畜排せつ物に混和して堆肥化し、有機農業に活用することで「越前おおの型農業」の確立を目指す。また、廃食用油のバイオディーゼル燃料化事業を障害者施設の就労支援事業として実施することにより傷害のある人の就労機会の提供と就労意欲の向上を図る。 |
| | 若狭町 | 若狭町の地域資源である山～川～里～湖～海をつなぐ水の流れに着目するとともに、間に介在して水を浄化し、清流を保つ役割を果たしているバイオマスバイオガス、堆肥、ペレット等へ利活用する取り組みを町ぐるみで実施し、地域振興に貢献できる総合的な事業を展開する。 |

注:市町村名の2段書きの上段は、合併後の市町村名を示す。

◎ 平成20年度にバイオマスタウン構想の策定計画を予定している市町村

| 県名 | 市町村名 |
|-----|---------------|
| 新潟県 | 十日町市、南魚沼市、魚沼市 |
| 富山県 | 朝日町、射水市、高岡市 |
| 石川県 | — |
| 福井県 | — |

◎ 平成21年度にバイオマスタウン構想の策定計画を予定している市町村

| 県名 | 市町村名 |
|-----|---------------|
| 新潟県 | — |
| 富山県 | — |
| 石川県 | 珠洲市、能登町、宝達志水町 |
| 福井県 | 坂井市 |